

# 肱川水系肱川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

## 1 説明文

- (1) この図は、肱川水系肱川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の肱川の河道の整備状況を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により肱川が氾濫した場合の浸洲の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

## 2 基本事項等

- (1) 作成主体 愛媛県
- (2) 公表年月日 令和元年 5月17日
- (3) 告示番号 愛媛県告示第47号
- (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項  
水防法施行規則（平成12年建設省令第44号）第2条第4号
- (5) 対象となる水位周知河川  
・肱川水系肱川（野村地区）（実施区間）  
左岸：西予市野村町野村字チガノ8号3番地先（新天神橋上流500m）から  
西予市野村町蔵良126番地先（権現橋下流500m）まで  
右岸：西予市野村町野村字芒駄場7号432番地先（新天神橋上流500m）から  
西予市野村町阿下5号597番地先（権現橋下流500m）まで
- (6) 指定の前提となる降雨 肱川流域の48時間の総雨量 340mm
- (7) 関係市町村 西予市
- (8) その他計算条件等  
氾濫区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わされていない場合があります。

## 凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3~0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 対象となる水位周知河川の区間

